

細島港

宮崎県県土整備部港湾課

〒880-8501 宮崎市橋通東2-10-1

☎0985-26-7188

URL : http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/doboku/kowan/miyazaki_kowan/hososhima.html



1. 概況

現在の細島港は、商業港と工業港の総称であるが、商業港は天然の良港で古くから東九州の海上交通の要衝として著名であった。

徳川幕府時代は、日向・薩摩・大隅の各藩主が参勤交代の際には、必ず本港を経由しており、港口には番所が設けてこれらの出入船舶を検問した。

明治のはじめは、沖縄・鹿児島方面より京阪神方面に向かう通商船舶が入港する程度であったが、その後明治13年四国・阪神方面との定期航路が開設されるにおよんで、本港の利用は次第に増加した。

明治20年には、オランダ人デレーケ技師の設計によって、近代的な港湾改修事業が進められ、明治27年に県費支弁港に、大正元年には指定港湾に編入された。

また、大正10年に日豊本線が開通し、更に同年細島港線も敷設され、貨物の集散は急増し、昭和2年には第2種重要港湾に編入された。

昭和7年から昭和15年にかけて、内務省直轄による港湾整備が行われた。

この間、大正12年から昭和12年にかけて、本港の港勢圏内に包含される延岡市に、旭化成延岡工場が設立され、一大工業地帯が出現し、船舶による原料及び製品の移出入は、年とともにますます増加し、本港の重要性は一段と増大した。

第二次大戦中は、本港の立地条件が南方諸地域と最短距離にあり、かつ、太平洋に面する天然の良港であることに着目して三菱石油・九州造船が本港内に石油精製を主体とする臨海工業地帯の建設に着手したが、敗戦とともにその建設を中止した。

戦後、県総合開発計画の樹立にともない、運輸交通の面における積極的な整備が要請され、昭和22年より港湾整備計画にもとづいて埠頭施設、泊地浚渫ならびに陸上施設等の改修が進められ、昭和24年には貿易港として開港指定を受け、更に昭和26年には重要港湾に指定された。

昭和25年には、国土総合開発の一環として、全国にさきがけて国土の総合的利用、資源開発、産業の適性配置等本県産業振興の基本施策を樹立し、本県発展の拠点として、昭和27年に細島臨海工業地帯の造成ならびに工業港の建設に着手した。

以来、工業港地区は工業用地の造成をはじめ港湾施設の

整備増強を進め、昭和38年までに15,000トン公共岸壁2バース、2,000トン公共岸壁4バース、大型荷役機械、タグボート、公共貯蔵用、県営上屋、臨海道路等の整備と相まって、昭和39年11月開港し第一船に中国船が入港して以来、国内船はもちろん、各国の大型船舶が相次いで入港しており、名実ともに大型港湾としての機能を発揮している。更に44年度、45年度で第1区には15,000トン1バースと5,000トン1バースの公共岸壁を、引き続き46年度で第2区に3,000トン公共1バースを増設し、また工業港内白浜地区においても、45年度に石油配分基地、また、外貿輸入指定港として昭和43年10月16日指定を受けていることから、46年度には木材基地の造成を行い、一段と港湾の機能は増大され、昭和46年5月15日には本県でただ1つの港則法にもとづく特定港の指定を受けた。

また、この後昭和53年から昭和55年にかけて工業港白浜地区に15,000トン公共岸壁1バース、5,000トン公共岸壁2バース、2,000トン公共岸壁2バースが増設され、また、同時にこの地区の余島に昭和55年から昭和57年にかけて骨材専用埠頭として、2,000トン公共岸壁2バース、700トン公共岸壁3バースが完成し、昭和58年4月に供用開始の運びとなった。

一方、カーフェリーも昭和46年3月に細島～川崎間が、その後も神戸・大阪・広島航路が相次いで開設されたが、いずれも現在は廃止となっている。そのような中、平成5年12月にコンテナ航路が開設され、外貿定期コンテナ貨物量が飛躍的に伸び、また、RORO船の大阪航路が平成13年10月、東京航路が平成18年8月にそれぞれ開設され、本県の貨物の輸送に大きく寄与している。しかしながら、外航商船の大型化、うねり等による荷役障害の発生等、背後地域の諸要請に十分に対応できない状況にあったため、平成9年7月に港湾計画を改訂。平成12年には白浜地区14号岸壁(-13m)が供用開始となり、沖防波堤の整備は現在も進めている。また、コンテナ貨物の増加への対応と滞船等の影響を考え、平成23年より整備を進めていた白浜地区17号岸壁(-13m)が平成27年に完成したことで、バルク貨物とコンテナ貨物の混在化の解消が図られることとなった。平成28年2月には、船舶の大型化や取扱貨物量増加による背後地不足に対応するため港湾計画を改訂した。そのような中、地域住民、港湾関係者、立地企業、行政が一体となって行っていた様々な取り組みが評価され、「ポート・オブ・ザ・イヤー2015」を受賞した。また、商業港地区における地域住民による地域振興の取り組み

が評価され、平成29年7月に「みなとオアシス」に登録された。

令和元年からは、近年全国的に増加傾向である原木の輸出に対応するため、新たに白浜地区において-10m岸壁の整備を進めている。

なお、SOLAS条約に対応するため、工業港地区1・2号岸壁、工業港地区5・6号岸壁、白浜地区10・14号岸壁、白浜地区17号岸壁及び日向製錬所岸壁ふ頭にて保安対策を実施している。

2. 港勢

入港船舶

種別	合計		30,000総トン以上		10,000総トン以上 30,000総トン未満		6,000総トン以上 10,000総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	348	3,004,706	15	533,990	35	752,797	115	1,016,761
内航商船	1,883	2,460,299	2	100,284	2	48,990	100	983,200
自航	2	23,862			2	23,862		
その他	1,043	94,427					2	17,050
合計	3,276	5,583,294	17	634,274	39	825,649	217	2,017,011

種別	3,000総トン以上 6,000総トン未満		1,000総トン以上 3,000総トン未満		500総トン以上 1,000総トン未満		5総トン以上 500総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	138	610,127	45	91,031				
内航商船	5	18,549	316	653,168	248	179,391	1,210	476,717
自航								
その他	5	27,350	6	13,122	35	19,822	995	17,083
合計	148	656,026	367	757,321	283	199,213	2,205	493,800

最大入港船舶のトン数 56,769 総トン（喫水 7.6 m）

海上出入貨物

項目	合計		農水産品		林産品		鉱産品		金属機械工業品	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出	185,163	100.0	775	0.4	76,835	41.5	768	0.4	4,968	2.7
輸入	1,545,528	100.0	39,335	2.5	2,250	0.1	1,399,262	90.5	4,137	0.3
計	1,730,691	100.0	40,110	2.3	79,085	4.6	1,400,030	80.9	9,105	0.5
移出	977,317	100.0	540	0.1	206,123	21.1	545,048	55.8	115,249	11.8
移入	1,087,028	100.0	123,465	11.4	15,459	1.4	310,883	28.6	148,042	13.6
計	2,064,345	100.0	124,005	6.0	221,582	10.7	855,931	41.5	263,291	12.8
合計	3,795,036	100.0	164,115	4.3	300,667	7.9	2,255,961	59.4	272,396	7.2

項目	化学工業品		軽工業品		雑工業品		特殊品		分類不能のもの	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出	68,743	37.1	26,889	14.5	3,199	1.7	2,986	1.6		
輸入	25,255	1.6	44,215	2.9	952	0.1	30,122	1.9		
計	93,998	5.4	71,104	4.1	4,151	0.2	33,108	1.9		
移出	64,455	6.6	38,287	3.9	2,291	0.2	5,324	0.5		
移入	425,583	39.2	7,666	0.7			55,930	5.1		
計	490,038	23.7	45,953	2.2	2,291	0.1	61,254	3.0		
合計	584,036	15.4	117,057	3.1	6,442	0.2	94,362	2.5		

太字は自動車航走船取扱貨物（外数）で、計及び合計に含まない

外貿コンテナ貨物取扱量

項目	フレートトン	TEU	
		実入り	空コン
輸出	112,710	9,638	2,721
輸入	87,002	7,990	2,294

乗降人員

	合計	乗込人員	上陸人員
外国航路	5,492	2,746	2,746
内国航路	5,398	2,551	2,847
計	10,890	5,297	5,593